

2021年3月31日

## ヤクルトシリーズの新テレビCMがスタート！！

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸孝成）は、ヤクルトシリーズの新テレビCM「家族によし！」篇（15秒）を4月5日から放送します。

今回も喜劇役者の伊東四朗さん、俳優の大泉 洋さん、女優の藤井美菜さんが登場し、温かな家庭を描きながら、ヤクルトシリーズを紹介します。



### 【広告の目的】

家族を思いながら、「カラダに、よし！」「バランス、よし！」と呟きながらスーパーマーケットで買い物をする大泉さんの様子や、帰宅後に家族全員で「ヤクルト」を飲むシーンをとおして、家族での飲用を訴求します。

### 【放送開始日】

ヤクルトシリーズ「家族によし！」篇：4月5日（月）

以上

## ■出演者プロフィール

## 伊東 四朗(いとう しろ)さん



1937年6月15日生まれ。東京都出身。  
58年に軽演劇の石井均率いる劇団「笑う仲間」に参加し浅草松竹演芸場でデビュー。  
61年に三波伸介、戸塚睦夫と「ぐうたらトリオ」を結成。  
62年には「てんぷくトリオ」と改名。  
65年の日本テレビ『九ちゃん!』でレギュラーに抜擢される。  
75年のTBS『笑って!笑って!60分』では小松政夫演じる「小松の親分さん」との絶妙な掛け合いを見せる。  
76年のテレビ朝日『みごろ!たべごろ!笑いごろ!!』では、「ベンジャミン伊東」の名で唄い踊ったバカバカしい「電線音頭」で世間を騒がす。  
83年にはNHK連続テレビ小説『おしん』のシリアスな父親役を演じる。以後も多数のテレビドラマ・映画・クイズ番組や歌番組の司会、そして、ラジオのパーソナリティーとしても多彩ぶりを発揮している。八面六臂の活躍の一方で、「笑い」にこだわった舞台を創りだしている。  
97年三宅裕司とコントライブ『いい加減にしてみました』(2002、2010にも上演)  
04年には「伊東四朗一座旗揚げ解散公演」を上演。好評を博す。現在不定期ではあるが、舞台に出演。“喜劇役者としてのこだわり”を持ち続けている。  
最新作として、伊東四朗生誕?! 80+3周年記念『みんながらくた』(下北沢・本多劇場)がある。  
主な著書に『この顔で悪いか!』『この顔でよかった!』『ボケてたまるか!』(以上集英社)など。

## 大泉 洋(おおいずみ よう)さん



1973年4月3日生まれ。北海道出身。  
演劇ユニット“TEAM NACS”のメンバーとして舞台公演で人気を博す。  
2005年より活躍の幅を広げ、TVドラマ・映画に続々出演。  
主な出演作として映画「探偵はBARIにいる」シリーズ(2011年、2013年、2017年)、「清須会議」(2013年)、「青天の霹靂」(2014年)、「アイアムアヒーロー」(2016年)など。  
映画「駆込み女と駆出し男」(2015年)では第58回ブルーリボン賞主演男優賞、第39回日本アカデミー賞優秀主演男優賞を受賞。  
2016年はNHK大河ドラマ「真田丸」で主人公の兄である真田信之を演じ、その好演ぶりが話題となった。  
2018年12月には、主演映画「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」が公開。  
2019年7月、TBS日曜劇場「ノーサイド・ゲーム」主演。  
2020年には映画「グッドバイ〜嘘からはじまる人生喜劇〜」、映画「新解釈・三國志」が公開。  
2021年3月26日に映画「騙し絵の牙」が公開された。

藤井 美菜(ふじい みな)さん



2006年「シムソンズ」で映画デビュー。本格的に芸能活動を開始。

その後、映画「女子ーズ」(2014年/福田雄一監督)、「デスノート Light up the NEW world」(2016年/佐藤信介監督)などに出演。

2018年には「人間、空間、時間、そして人間」(キム・ギドク監督)が第68回ベルリン国際映画祭パノラマ部門招待作品に選ばれ、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2019招待作品部門オープニングにて上映される。

近年では、韓国連続ドラマ「ドクター探偵」(2019年/SBS)にレギュラー出演。「神様のカルテ」(2021年/テレビ東京)、「理想の男」(2021年4月7日深夜0時40分～放送/テレビ東京)などがあり、CM他、多方面で活躍。